古代のハスに思いを寄せて…

大賀ハス

観蓮会（かんれんかい）

Ōga Lotus

と　き：6月28日(日)　午前10時～正午

ところ：平池緑地公園（和歌山電鐵きしがわ線甘露寺前駅下車）

～イベント内容予定～

10:00　開会式

10:50　催し物（琴の演奏など）

11:20　象鼻杯体験・野点など

12:00　閉会

「大賀ハス」とは？

大賀ハスは、2000年以上前の地層から発見された種子が発芽した古代のハスで、植物種子の中で最長寿の部類に入ると考えられています。

昭和26年、理学博士・大賀一郎氏が、千葉市の東京大学厚生農場の地下、縄文時代から弥生時代にかけての地層より、3粒のハスの種を発見し、そのうちの1粒が見事に開花し、博士の名にちなんで「大賀ハス」と命名されました。

紀の川市の大賀ハスは、平成19年3月、和歌山大賀ハス保存会および日高郡美浜町から、青洲の里に分根していただきました。山地の多い紀の川市には豊富な水源があり、多くの作物を育てるこの水源林から湧き出る水のおかげで、当地の大賀ハスも生き生きと育っています。

平池緑地公園には、平成22年4月に青洲の里から分根され、今年で6年目を迎えますが、広い平池の中に、大きなピンク色の鮮やかな花を咲かせ、訪れた人の目を楽しませてくれています。

開花の最盛期…6月下旬～7月上旬の早朝
（午後に花弁は閉じます）

主催：紀の川市大賀ハス観蓮会実行委員会

【お問い合わせ】紀の川市都市計画課（TEL 77-2511）